

長野支部 支部研修報告

- 1 日時 7月2日 9:00～19:00
- 2 会場 諏訪教育会館
- 3 参加人数 54名

内容

本研修会は、「科学が好きな子ども」を育むにはどうしたらよいかを主課題に行われた。まず、「科学が好きな子ども」を次のように定義した。「科学が好きな子ども」は、自ら疑問をもち、追究し、その結果獲得された知を生かす子。

そして、その考えを元に次のような教材開発を行った。

- ①子どもの疑問を引き出す教材
- ②実験結果から自然現象のきまりが明確に見える実験方法
- ③得られた知を生かせる教材

この考えを受け、8月に石川県で開催される中日本ブロック別研修会へ参加する4部会の研修員、及び信州理研の授業者より教材の提案がなされた。その後、班別研修・全体協議を経て、長野支部としての考えをまとめた。

講師の大阪教育大学名誉教授松本勝信先生より随時御指導を受けたり、全体協議を受けての講演をいただいたりした。



班別研修の様子



<小4 人の体のつくりと運動>



<小5 川と水の流れ>



<小6 電気の利用>



<中学 力学的エネルギー>



<信州理研 富士見小学校の授業検討>



<信州理研 富士見中学校の授業検討>



<論文書き方講習会>



<松本勝信先生によるご講演>

今年度も松本先生の適切かつ熱心な指導に支えられ、また、参加者の積極的な参加により中身の濃い研修会を行うことができた。研修を通して、長野支部の根底を流れているのは、「自らを意識する 自己評価」であることを会員一同再認識する場となった。

今後も「科学を好きな子ども」を育むべく、よりより教材開発の必要性を確認し合うことができた。今後は、学んだことをそれぞれが実践していきたい。